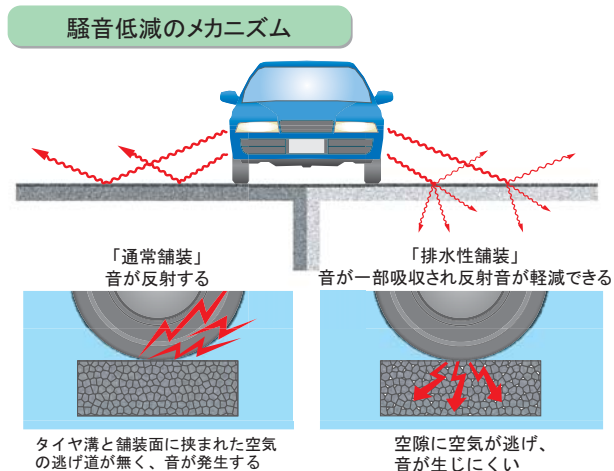
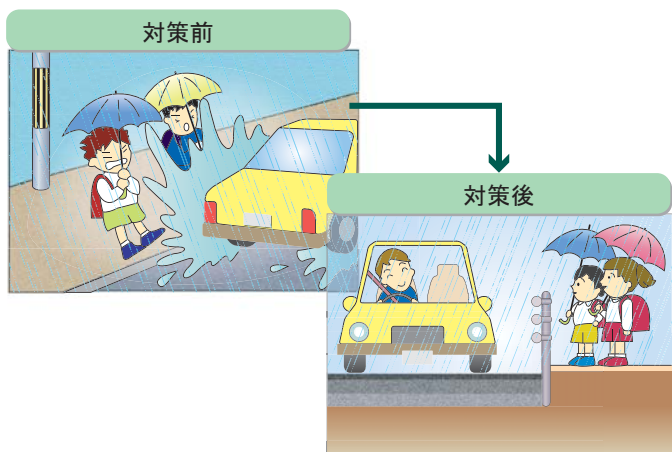


6. 舗装修繕

1 排水性舗装

アスファルト舗装の表層に排水性舗装を実施することで、降雨時に路面を流れる雨水を排除し、車両の走行安全性を向上するとともに歩道や沿道への水はねを防ぎます。

また、排水性舗装には通常の舗装より空隙が多いため、タイヤ騒音の発生を抑制し、エンジン音等の騒音も吸収することで、騒音低減の効果があります。そのため、沿道の騒音が環境基準を超えており、路面の傷みが著しい個所に実施していきます。



2 修繕工事

「安全・快適に通行できる」ようにするため、傷んだ道路の舗装を補修しています。

割れ目の補修はシールと呼ばれる材料を使って埋めています。シールをしてから何年か経過して、さらに割れ目が増えたりくぼみが深くなったときに、古い舗装を削って新しい舗装にします。

